

◆CT

外来棟：CT2 台 PHILIPS 製 Brilliance 64

東芝製 Aquilion ONE ViSION Edition (320 列)

入院棟：CT1 台 PHILIPS 製 Brilliance 6

検査部位や、造影剤を使用する際にはお食事の制限がありますので、事前にスタッフにご確認下さい。

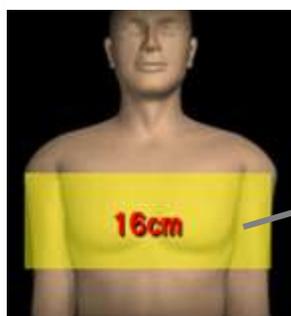
2014 年 5 月より、東芝製の最新型 320 列 CT (Aquilion ONE ViSION Edition) を導入しました。被ばく低減ソフト AIDR が搭載されており、被ばく線量で最大 75% の低減効果を発揮します。従来の CT 装置よりも X 線検出器の範囲が 16cm と広く、最短 0.275 秒で 1 回転するため、心臓の拍動により画像に影響の出やすい冠動脈も高精度に描出することが可能になりました。

小児の撮影も部位によっては 1 回転撮影が可能です。撮影時間が短縮できる為、検査内容によっては今まで必要であった鎮静が不要になる場合もあります。

更に、成人においても胸から骨盤下までを最短で約 7 秒で撮影できます。息止めの困難な方でも呼吸の動きの影響を受けにくく、短時間でより有意義な画像を得られるようになりました。

また、2014 年 8 月より新たに大腸 CT 検査 (CT colonography:CTC) を行っております。CTC は内視鏡を使わずに CT で得られる画像を画像処理して 3D 画像や仮想内視鏡像から大腸内の形態や病変を観察出来ます。内視鏡よりも短時間で検査が終了し、患者さんへの負担も少ない検査と言われております。

2015 年 2 月より夜間休日帯でも医師が必要だと判断した場合には、冠動脈 CT の検査を行うようになりました。



0.275 秒で撮影可能な範囲

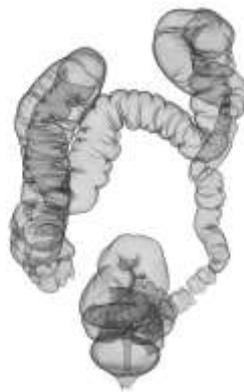
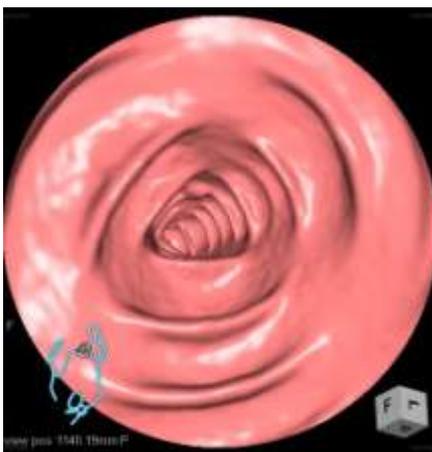
※東芝製 最新型 320 列 CT (Aquilion ONE ViSION Edition)



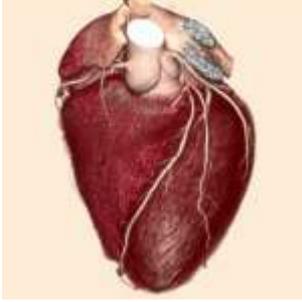
※小児撮影例（1才）1回転で撮影 息止めが出来なくても肺野内が鮮明に描出されている



※小児撮影例（3ヶ月）造影剤 6ml を使用して撮影 血管 3D 再構成画像



※大腸 CT 検査画像例 左：仮想内視鏡像 右：大腸概観



※冠動脈 CT 撮影約 0.3 秒